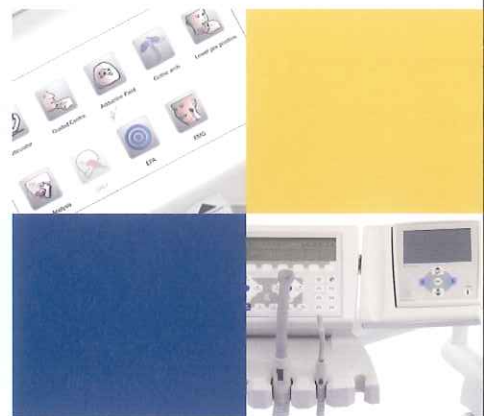


KaVo アルクスディグマII

ミクロン単位の精度を 可能にする技術



KaVo. Dental Excellence.

新しくなったインターフェース、
もっと使いやすく
もっと便利に

2001



2011

KaVo アルクスディグマII

(販売名: アルクスディグマII 認証番号: 222AIBZX00026000)

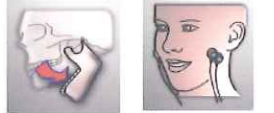


咬頭嵌合位の把握

咬頭嵌合位は形態的や解剖学的だけでなく、その働きとして生命維持のための最も重要な機能である咀嚼を担っており、スムーズな咀嚼のためには、その咬頭嵌合位が咀嚼筋の作用に対して好都合な位置にある必要があります。

飛躍的に精度の向上したアルクスディグマIIなら、機能的な咬頭嵌合位である咀嚼終末位を簡単に見つけだすことができます。

→ Motion Analysis, EMG



咬頭嵌合位を咬合採得

アルクスディグマIIに新たに追加されたAdduction Fieldを利用することで、機能的な咬頭嵌合位を咬合器上に正確に再現することができます。

→ Adduction Field



咬合面・舌面形態をコピー

アルクスディグマIIとプロッターEvo7を組み合わせることで、プロビジョナルレストレーションの咬合面・舌面形態をファイナルレストレーションの咬合面・舌面形態へ写しとり、最適な咬合面・舌面形態を付与することができます。

→ Articulator



咬頭嵌合位の再評価

EPA (Electronic Position Analysis) は世界中でアルクスディグマIIだけが持つ、画期的な機能です。EPAを用いることで、プロビジョナルレストレーションとファイナルレストレーションにおける咬頭嵌合位の再現性を評価することができます。

→ EPA (Electronic Position Analysis)

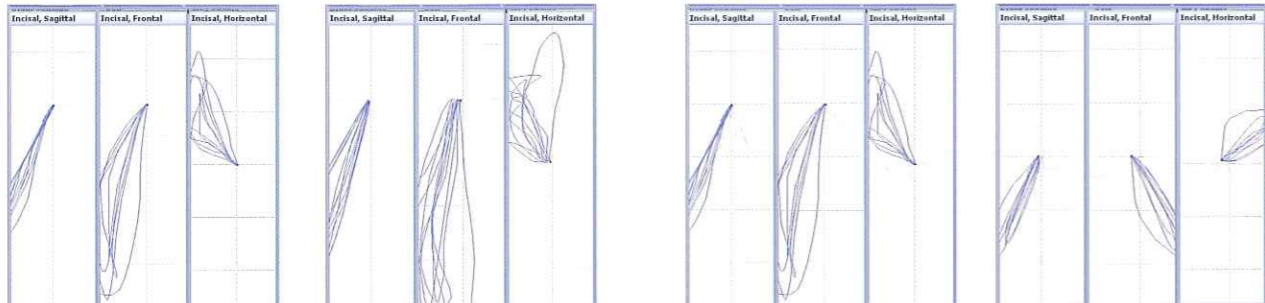




Motion Analysis 咬頭嵌合位の把握

Motion Analysis により、以下の項目を観察することができます。

- ・咀嚼終末位の収束・未収束
- ・咀嚼終末位と習慣性開閉口運動の終末位との一致・不一致
- ・機能的な咬頭嵌合位と形態的・解剖学的な咬頭嵌合位との一致・不一致



収束している咀嚼終末位 (左)、未収束の咀嚼終末位 (右)

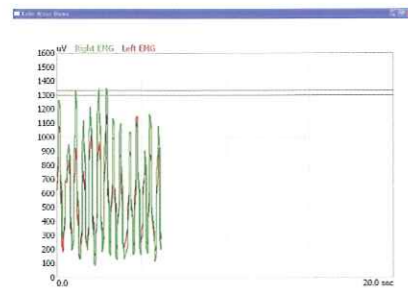
機能的な咬頭嵌合位と形態的・解剖学的な咬頭嵌合位が一致している (左)

機能的な咬頭嵌合位と形態的・解剖学的な咬頭嵌合位が一致していない (右)

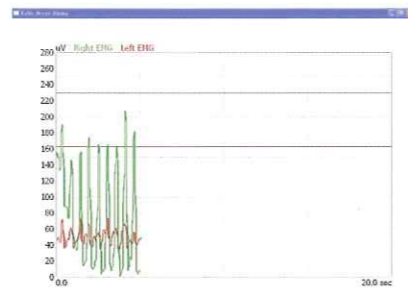


EMG 咀嚼筋の把握

スムーズな咀嚼のためには、咀嚼筋が協調活動した状態で、咬頭嵌合位はその作用に対して好都合な位置にある必要があります。



協調活動が得られている筋活動状態



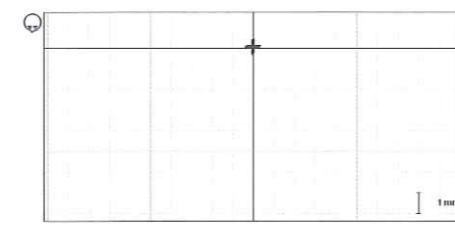
協調活動が得られていない筋活動状態



Adduction Field 咬頭嵌合位を咬合採得

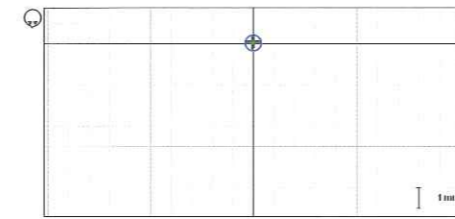
咀嚼運動終末位ならびに習慣性開閉口運動の終末位での上下顎歯列の位置関係を咬合器上に再現し、その咬合器上において補綴装置を作製することで、機能的な咬頭嵌合位と形態的・解剖学的な咬頭嵌合位を一致させることができます。

新しくアルクスディグマIIに追加された Adduction Filed は、咬合採得をする際、緑色で示される円 (ターゲットエリア) を目標に、赤い十字を合わせることで、機能的な咬頭嵌合位を正確に記録することができます。



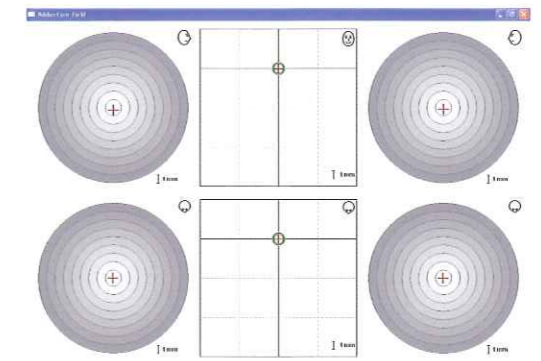
Record positions (), to proceed

機能的な咬頭嵌合位を数回記録します。



Adjust target area

記録した点から導きだされたターゲットエリアを、緑色の円として表示します。



Guide to centric position, to proceed

あらかじめ機能的な咬頭嵌合位をターゲットエリアとして設定しておくことで、正確な咬合採得がリアルタイムに行えます。



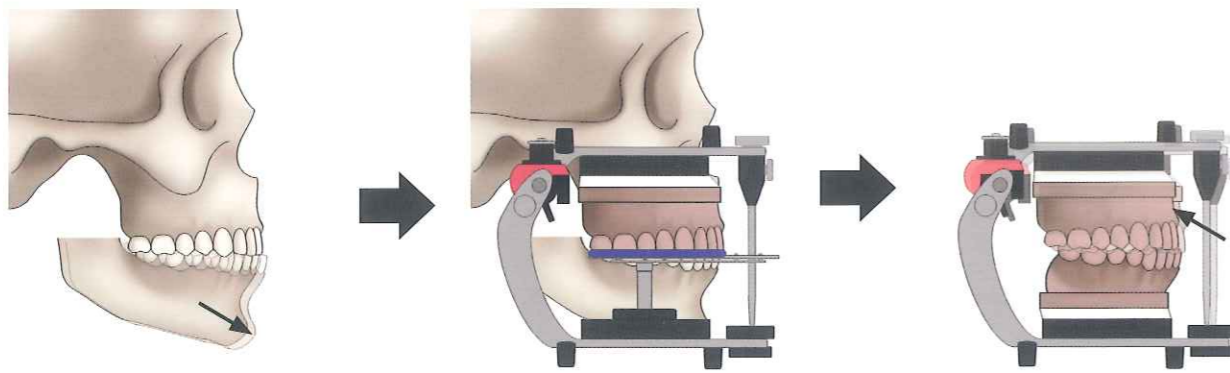


Articulator 咬合面・舌面形態をコピー

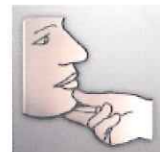
Articulator を用いて口腔内の正確なデータを咬合器に反映させることができます。

より精度の向上したアルクスディグマIIは、プロッター evo.7 と併用することで、上顎歯列を基準としてその歯牙の誘導に基づく下顎歯列の動きを正確に咬合器上に再現します。

これにより、作り上げられたプロビジョナルレストレーションの咬合面・舌面形態をプロッター evo7 上に写し取り、ファイナルレストレーションへとコピーすることができます。



プロビジョナルレストレーションの咬合面・舌面形態を上顎を基準にプロッター evo7 上に再現し、ファイナルレストレーションにコピー。



Guided Centric

Guided Centric は、歯学部生や卒業研修医に対する教育用プログラムであり、中心位誘導を推奨するものではありません。



Gothic Arch

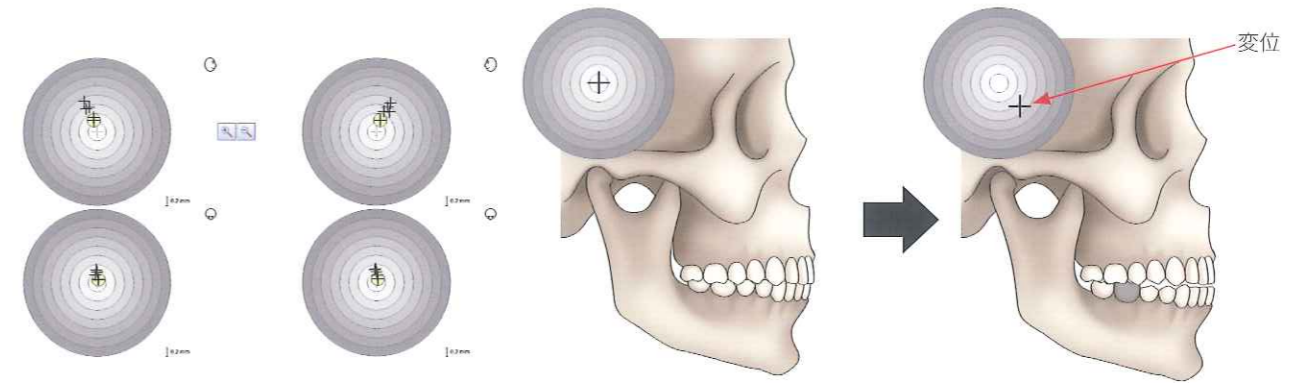
Gothic Arch は、総義歯におけるゴシックアーチトレーシングのための測定項目です。



EPA (Electronic Position Analysis) 咬頭嵌合位の再評価

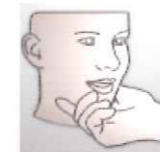
EPA (Electronic Position Analysis) は KTS (KaVo Transfer System) にて下顎体が移動する方向・移動する距離を計測することで、咬頭嵌合位の位置関係を観察することができます。

EPA を用いることで、ファイナルレストレーションの咬頭嵌合位における再現性の評価や、プロビジョナルレストレーションとファイナルレストレーションの咬頭嵌合位の変位を観察することができます。



装着前

咬合の高い装着物装着時



Lower jaw position



EAEF

Lower jaw position および EAEF は、認定研修会を受講した後に使用できるプログラムです。基本的な測定項目ではありません。

KaVo アルクスディグマII



KaVo アルクスディグマII

(販売名: アルクスディグマII 認証番号: 222AIBZX00026000)

【アルクスディグマII同梱品】

- ① 国別アダプター付電源装置
- ② バイトフォークサポート (バイトフォークジョイント)
- ③ アルクスディグマスタンド
- ④ アルクスディグマベーシックユニット
- ⑤ フットスイッチ
- ⑥ アクシャルピン
- ⑦ アルクス evo フェイスボウ
- ⑧ アルクスディグマレシーバー
- ⑨ フェイスボウ用リファレンスポインター
(フランクフルト平面およびカンペル平面を基準)
- ⑩ 下顎アタッチメント (クラッチ)
- ⑪ KTS バイトフォーク
- ⑫ 通常のバイトフォーク
- ⑬ アルクスディグマトランスミッター
- ⑭ アルクスディグマII用リファレンスポインター

KaVo アルクスディグマIIをもっと活用するために



EMGアナリシス

(販売名: アルクスディグマII 認証番号: 222AIBZX00026000)



KaVo プロター-evo 7

(販売名: プロター-evo 7 届出番号: 27B1X00039000013)



ディグマ用トランスファースタンド



アジャスタブルインサイザルテーブル



シフトアングルインサート



KaVo. Dental Excellence.

カボ デンタル システムズ ジャパン株式会社

東京本社 〒140-0001 東京都品川区北品川4-7-35 Tel:03-6866-7480 Fax:03-6866-7481

大阪本社 〒541-0043 大阪府中央区高麗橋4-5-2 Tel:06-7711-0450 Fax:06-7711-0451

札幌営業所 Tel:011-716-4694 Fax:011-716-4692 ・ 仙台営業所 Tel:022-772-7375 Fax:022-772-7376

名古屋営業所 Tel:052-238-1146 Fax:052-238-1567 ・ 福岡営業所 Tel:092-441-4516 Fax:092-472-1844

<http://www.kavo.jp>

VHYUMI1306V2 HT-012

※掲載されている写真にはオプションが掲載されている場合があります。
※製品の仕様等は改良のため所りなく変更になる場合がございますのでご了承ください。